

不登校セラピー

不登校・引きこもりに改善効果がある

10の言葉がけと接し方

最短3週間で

自発的再登校に導くために、
まず取り組むべき

**たった1つの
最重要ポイントとは？**

**子どもの心を
ゆがませない**

ための2つの注意点

**「不登校の
子どもとどう
向き合ったら
いいの？」**

その具体的な方法

**良い言葉がけ
137**

キーワード&
キーフレーズ集

新井てるかず

はじめに

こんにちは。

不登校セラピー代表、新井てるかずです。

本レポートは、お子様の不登校のことで「具体的にどうすれば解決できるのか」という解決方法を探し求めておられる親御様のために、難しい理論は抜きにして、ご家庭ですぐ実践できるテクニックをまとめたものです。

特に、

「わが子が〇〇という状態だが、どう接すればいいのかわからない」

「自分（親御様）の言葉でわが子が傷ついてきたんじゃないか」

「自分はうまくわが子とコミュニケーションが取れていないんじゃないか」

「わが子をほめた方が良いのはわかるけど、どんなほめ言葉をかけて良いのかわからない」

といったお悩みをお持ちの親御様に、今すぐお役立ていただけるようにまとめたレポートです。

このレポートの原型は、無料電話相談で直接親御様にご指導させていただいた経験から生まれました。私のアドバイスを親御様が実践されたことで、30%程度のお子様が無登校を果たし、多くの感謝のお声を頂戴しました。

本レポートは、その内容を更に発展充実させ、更に心理学の知識のない方でもご活用いただけるようにまとめたものです。ここ5年間の私の研究成果を凝縮したテクニック集であり、一切出し惜しみしていません。

ご活用いただき、一人でも多くの苦しむお子様が救われることを願っています。

改善の第一段階を目指す

不登校・引きこもりの改善は、必ずといって良いほど、
「改善の段階」
があります。

ここでご紹介するのは、徹底して
「**まずは第一段階の改善を目指す**」
という目的のための方法です。

第一段階というのは、たとえば

- ・ 身体の症状のきついお子様は、症状が治まる
- ・ 精神的に色々不安定なお子様は、安定さを取り戻す
- ・ 無気力なお子様は、徐々に気力を回復する

などです。

しかもしばしばこれだけで
「**自発的な再登校を引き起こすことができる**」
という、素晴らしい方法でもあります。

本書では、

7つの言葉がけと接し方、
1つの向き合い方、
2つの注意点、

計 10 の言葉がけと接し方をお伝えします。

改善効果のある言葉がけと接し方

ここではまず7つのやり方をお教えします。

いずれもギャップに引っかからない、愛着関係を深める効果のあるやり方です。

目的は明確です。

- ・ 愛着関係を作り、深めていくこと。
- ・ ギャップと先回りをやめること。

そのための、具体的な方法論です。

なお、愛着関係とは何か、ギャップと先回りとは何かをお知りになりたい方は、私のホームページをご覧ください。

※不登校セラピーのHPはこちらをご覧ください。

<http://www.不登校セラピー.jp/>

1) スキンシップ・笑顔・良い言葉

お子様に愛情を伝えるときどうしますか？

もっともシンプルで伝わりやすいのが「**スキンシップ、笑顔、良い言葉**」のセットです。

1-1) スキンシップ

特に**スキンシップ**は有用で、愛着関係の再構築の重要なパートを占めています。

スキンシップをすると良い箇所は、次の通りです。

「頭」→頭を優しくなでる

「顔」→頬を優しくなでる、優しく触れる

「手」→手を握る、手の甲をさする

これらは人間の皮膚の中で神経が集中している箇所です。

もちろんこれら以外でも構いません。
肩、背中などです。

できる方はハグ（抱きしめる）もして下さい。

1-2) 笑顔

スキンシップにあわせてほしいのが、**笑顔**です。

普段どれだけお子様に笑顔を向けていますか？

おそらく意識なさっている方は少ないと思います。
だからこそ効果があります。

親御様の笑顔を見ると、どれだけ心が安らぐか。
お子様は、親御様の笑顔を見たいのです。

1-3) 良い言葉

良い言葉とは、「**ほめる、認める、感謝する、直接愛情を伝える、いたわる、ねぎらう、あいさつする、助け船を出す**」です。

お子様の胸に暖かな気持ちを呼び起こし、
「自分は親に大切にされている」
「愛されている」
「守られている」
と、実感できる言葉です。

以下に、お子様と良い言葉でコミュニケーションをするのに役立つキーワードとキーフレーズをご紹介します。

良い言葉がけ 137 のキーワード&キープフレーズ集

「ほめる」

→いいね

〇〇がいいね（具体的なモノ、場所、箇所など）

すごいね

上手だね

うまいね

よくできたね

よくやったね

よくがんばったね

目の付け所が良いね

すばらしい

さすがだよ

さすが私の息子（娘）だ

いい考え方だね

よく考えてるね

いい判断だね

よく気がつくね

気が利くね

賢いね

賢明だね

なかなかイケてるね

イイ感じだね

イイ感じじゃない？

速いね

しっかりしてるね

落ち着いてるよ

大したものだ

良くなったね

センスが良いね

これ、他じゃなかなかできることじゃないよ？

見事だなあ
抜群だね
いいリズムだね
繊細だね
素敵だね
真っ直ぐだね
輝いているね
やさしいね
細やかだね
際立ってるね、
人を惹きつけるモノがあるよ
見所があるね
手際が良いね
凛々しいね
見違えたよ
気高いね
寛容だね
寛大だね
思いやりがあるね
君が一番人間的に上だよ

（男の子に）

かっこいいな
しっかりしてるね
たくましいね
力強いよ
力があるね
芯が太いね
芯が強いね

（女の子に）

〇〇がきれいだね（具体的にモノ、箇所、場所など）
かわいいね
愛くるしいね
品があるね
上品ね

エレガントだね
うるわしいなあ
キュートだね

「認める」

承認することです。

→いいよ
大丈夫だよ
それでいいよ
OK だよ
文句ナシ！
これ以上ないよ
あなたのいうとおりだよ
いい考え方だね
いい判断だね
うまくいってるね
あなたの考え通りにすればいいよ
その〇〇が好きなんだよ
お父さん（お母さん）はおまえを誇りに思うよ
おまえはお父さん（お母さん）の誇りだよ

「感謝する」

→ありがとう
本当にありがとう
ありがとう、お父さん（お母さん）うれしいな
君のおかげだよ
君ががんばってくれたおかげでお父さん（お母さん）助かったよ
生まれてきてくれてありがとう
あなたが生まれてきてくれて、お父さん（お母さん）は本当に感謝しているよ
あなたのおかげで〇〇なんだ

「直接愛情を伝える」

→君はお父さん（お母さん）の大事な息子（娘）だ
お父さん（お母さん）は君が一番大切なんだよ
大好きだよ
愛してるよ
君はお父さんとお母さんにとって特別な存在なんだ
君が元気でいてくれるだけでお父さん（お母さん）はうれしい
お父さん（お母さん）がいつもそばにいるよ
お父さん（お母さん）がいつも一緒だよ
お父さん（お母さん）がいつもついてるよ
お父さん（お母さん）は絶対君を見放したりしないよ
一生大事な家族だよ
君はかけがえのない存在なんだ

「いたわる」

→〇〇はどうだった？
大丈夫かい
つらくない？
疲れてない？
しんどくない？
気分は悪くない？
痛くない？
〇〇が痛いって言ってたけど今はどう？
疲れたらゆっくり休んだらいいよ
いいよ
いいんだよ
無理しなくてもいいんだよ
残念だったね
悔しいね

そうか、つらかったね
もうこれ以上がんばらなくていいんだよ

「ねぎらう」

→大変だったね
疲れたね
よくがんばったね
よく耐えたね
つらかったね
よく我慢したね
ご苦労様
お疲れ様

(もし親御様ご自身が何かで苦しみを与えてしまったとしたら)
ごめんね
悪かったね
苦しめたね
我慢させたね
申し訳なかった

「あいさつ」

(大きな声でちゃんとお子様に聞こえるように)
→おはよう
いただきます
ごちそうさまでした
いってきます
いってらっしゃい
ただいま
おかえり
おやすみ

—不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井てるかずに属します。新井てるかずの許可なき複製を禁じます。

「助け船を出す」

お子様がピンチに陥っているときに、どんな言葉がけをしていますか。
周りと一緒に突き落としたりしていませんか。
「オマエが悪いんだぞ」「あなたにも原因があるんだよ」などと。

そうじゃありませんよ。
家族は助け合いですよ。
親は子を助けるんですよ。

→大丈夫だよ。お父さんとお母さんが守る。
おまえに何かあったら必ずお父さんとお母さんが助ける。
何も心配しなくて良いよ。
お父さん（お母さん）がいつも一緒だよ
お父さん（お母さん）がいつもついてるよ
お父さん（お母さん）は絶対君を見放したりしないよ

=====

毎日最低一つは笑顔で良い言葉をかけて下さい。
五感から良い情報をどんどん入力してあげるのです。

コツは、

- ・ 面と向かってほめること。
- ・ 笑顔で言うこと。
- ・ 目をしっかり見ること。
- ・ 優しく言うこと。
- ・ さらに2つ以上の良い言葉を組み合わせるのもよいでしょう。

—不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井てるかずに属します。新井てるかずに許可なき複製を禁じます。

笑顔でよい言葉をかけて下さい。

親御様がかけてくれた暖かな良い言葉は、一生忘れません。

暖かな気持ちの小さな積み重ねが、お子様を変えていきますよ。

良い言葉がけの注意点

ここで、注意していただきたいことがあります。

はげましの言葉は使わない

はげましの言葉は、使いこなしが非常に難しいです。

ほとんどの場合で、後述する「ギャップ」にひっかかってしまいますので、良い言葉がけにならないのです。

たとえば、

親「大丈夫。がんばってみようよ」

→お子様の感じ方“もう十分がんばってきたのに...これ以上もっとがんばれって言うのか...”

となるのです。

一概にはげましが全てダメではありませんが、

この言葉を向けるべき相手とシチュエーションを見極めるのは、心理学の達人レベルでないとできません。

したがって、お子様にはげましの言葉は使わないで下さい。

2) コミュニケーション

親は子供と話すとき、次の7つを守ってください。

1. 手を止め、体を子供に向け、顔を子供に向け
2. 子供の目をしっかり見て、目線を合わせ
3. やさしい声（穏やかな声、明るい声）で
4. すぐ返事する、即応答してあげる
5. よく聞く、徹底的に聞き切る、「うんうん」とうなづく
6. 共感してあげる、全肯定してあげる
7. 親は自分の言いたいことをゆっくりやさしく話す

これ、ものすごく大切です。

この7つに、愛着関係の作り方の神髄があります。

本当に大切なコミュニケーションの仕方です。

ただ残念ながら現実には、これができていない親御様は多いのです。

- ・よく聞きもしないで否定・反論・アドバイスをいきなり入れる、
- ・目を見ない、ケータイをいじりながら、テレビを見ながら
- ・自分の言いたいことだけを一方的にまくし立てる、
- ・そもそも聞こうとしない、
- ・無視する、
- ・聞き切らない

などです。

簡単なやり方を書きます。

—不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井てるかずに属します。新井てるかずの許可なき複製を禁じます。

お子様が何か言ったら、親御様は手を止め笑顔で目を見て

「うんうん」

「そうかそうか」

「へえー」

「そうだよねー」

「なるほど」

とうなずいて、じっくり聞いてあげてください。

聞き切って下さい。

それだけで充分です。

否定・反論・アドバイスは一切しないでください。

しつこいようですが、

否定・反論・アドバイスは一切しないこと。

否定反論は、もしあなたが会話の中で相手から

「いや、でも、だって、けど、しかし」

といつもいわれたら、どう感じますか？

いやですよ。

聞いてもらっている感じがしませんよね。

つまり、**安心**できないんです。

加えて、求められてもいないのに、アドバイスしないように注意して下さい。

「ああしたらどう、こうしたらどう」

「ああしたほうが良いんじゃない、こうしたほうが良いんじゃない」

など。

このアドバイスを、相手（お子様）が聞いてくれることはありません。

なお、アドバイスは相手から求められたときだけはOKです。

また、コミュニケーションで大変重要なことがあります。

お子様からの話しかけには、間を空けずに**即応答**して下さい。

早く返事してあげる程、お子様は**安心**します。

逆に間が空けば空く程、お子様は**不安**になります。

返事を後回しにする、
無意識のうちに返事しない、
意図的に無視する。

やってはいけませんよ。

もう一度ご自身の接し方を見直して下さい。

このコミュニケーションは、最重要といっても良いでしょう。

私をご指導させていただいたケースでは、ここをきっちり変えていただくだけで、

「3週間後に再登校を始めました」などというケースが続出しています。

（もちろん個人差がありますが）

普通の会話の中で、習慣化してみるといいですよ。

コミュニケーションの例

お子様が「自己否定」「自殺願望」などを言った場合の共感の仕方

たとえばお子様が

「もうダメだ。自分は何の価値もないクズだ。死にたい...」
といった言葉を口にすることはよくあります。

これに親御様が

「ああそうだね。価値がないんだね。死にたいんだね。」
などとやっては、もちろんいけませんよね。
「死ぬことを肯定する」のはいけませんよね。

こういった言葉への対応は2パターンあります。

1) ここだけは毅然と否定。

イヤ、否定というより助け船をだすのです。

「そんなことはない！あなたは私の大事な子供。この世で唯一の価値がある子。絶対死んで欲しくない！」

「お父さん（お母さん）がきっと何とかする！」

「お父さん（お母さん）が必ず助ける！」

ですよ。

2) 共感する

共感で対応した方が無難です。

「ああ、そんなにつらかったんだね。ごめんね、わかってあげられなくて。」
となります。

3) 洞察力を身につける

「洞察」とは、次を指します。

- ・相手の気持ちや感情を読み取ってあげること
- ・相手が何かしたらその動機を読み取ってあげること

これは大人であれば通常当たり前に身につけている能力ですが、不登校の親御様にはこの点にも充分気を配っていただきたい、と思います。

お子様の感情や動機を読めるようになって下さい。

何か言う前に、「これを言ったらどう感じるだろう」と推測する癖を身につけて下さい。

お子様が何か悪いことをしたら、「なぜこんな行動を起こしたんだろう、裏にはどんな動機があったんだろう」と推測する癖を身につけて下さい。

ご自身で推測できなければ、素直に聞いて下さい。「どうしてこんなことしたの？」と優しく。

「ハッキリわからないが、もしこれを言ったら何か悪影響があるんじゃないか」と疑念がわいたら、すっぱりやめてください。

これも接し方の基礎です。

この洞察ができているかどうかで、前述のコミュニケーションがまるで変わってきます。

お子様の気持ちがわかれば、当然対応が変わってきますよね。

洞察は、**コミュニケーションとペアになるぐらい重要だ**と思って下さい。

洞察力を磨いて下さい。

4) 優しい口調と言葉を使う

優しい口調・言葉を使って下さい。

優しく穏やかな言葉、口調で話して下さい。

1日24時間、1年365日ずっとです。

きつい言葉、汚い口調、冷たい言い方をもしなさっていたら、改めて下さい。

当たり前のことですが、できていない親御様も多いと感じています。

5) 敬意を持つ

一人の人間として、敬意を持って接しましょう。

尊重しましょう。

支配物ではありません。

あなたが敬意を持って接すれば、お子様も敬意を持ってくれます。

6) 家族の和を作る

お子様が「**ああ、この家にいたら安心できる、安らぐ**」と感じられるよ

うな雰囲気作りに注力してください。

これも愛着の重要な要件です。

・夫婦（両親）間の和、夫婦がお互い笑顔でニコニコ目を見ながら穏やかに話をする。

（ここ、大変重要です）

・祖父母様の世代は不登校に対して理解がない人が多いですが、キチンと話して理解を求め、常に笑顔でいてもらう。

・親御様と祖父母様はアルコールをやめる、少なくとも酔った姿をお子様に見せない。

（親のアルコール依存は、深くなるほど子供の精神に強い悪影響があります）

・その他の悪癖をやめる。

・愚痴や他人の悪口、批判非難を言わない。

（これらを聞かされて育ったお子様は、人格障害を起こす可能性が高いことをご存じでしょうか）

・お子様の前でカネの話をしな、お金のことを言わない。損得勘定で判断しない。カネのことより、人間らしさ、心と優しさを優先させる。

（ここはちょっと簡単に書けない話になりますが。。。）

・兄妹姉妹にも理解を求め、「何でコイツだけ学校行かなくていいんだ！」などと変な妬みを買うことのないようにする。

ここがキチンとできていないと、他が空回りする怖れもありますので、それぞれのご家庭での事情に合わせて、考えてみて下さい。

7) 守る、保護する

我が子をストレスから守ってあげて下さい。

脅威にさらさないで下さい。

— 不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井てるかずに属します。新井てるかずに許可なき複製を禁じます。

親に守ってもらうことが、子供の正常な生育に必要な、第一の条件となります。

いじめやトラウマ、学校の脅威から守るのです。
親御様が盾になって闘って下さい。

この7つが**正しい愛情の伝え方**です。

「お子様の安心と安全の欲求が満たされる養育環境」です。

安心とは、心が安らぐこと。
安全とは、適切な保護を与えられること。

「我が子があるがままに受け容れ、愛情を正しく伝える養育環境」です。

これらの本質は、愛着理論の専門用語で、「**引き寄せ**」といいます。
一言で言えば、「お子様を暖かく受け容れる」ことです。

詳細は、文章のみでは説明しきれないので、カウンセリングで詳しくご説明しています。

ワーク 「安心を与える」

それぞれのご家庭で、お子様に何をすれば安心を与えることができるか、そのアイデアを書き出してみてください。

(ここに自由に書いてみてください)

お子様との良い向き合い方

これまでご説明してきた方法をまとめると、
「良い向き合い方」
が生まれます。

それは、

受容・共感・待つこと

です。

この3点セットはよく聞きます。正しい意味を3つの因子理論で説明すると、

受容

→お子様の現状や行動を受け容れてください（暴力などは別）。
学校へ行かなくても、朝起きなくても、1日中ゲームをしても、それで良しと
しましょう。
つまり、親と子の考え方のギャップをなくし、受け容れるのです。
当人の本意に沿った対応をすることが重要です。

共感

→お子様と感情を共有します。
お子様の気持ちを共に感じてあげます。
お子様が「つらい」「イヤだ」「こわい」などと言ったら、その感情に理解を示し、
親御様も共有を試みてください。
これによって親子の愛着関係が再構築されます。

待つこと

→愛着関係の再構築によって、子供には探索行動が生まれます。
この探索行動が自発的再登校の原理となります。
この探索行動が生まれるまで待ってください。

最も重要なことは、**当人の本意に沿った対応をする**ことです。

向き合い方の極意

一言で言うならば、「**赤ちゃんに接するように**」です。

みんなニコニコ笑顔で抱きしめ、全てを暖かく受け容れます。

赤ちゃんが泣いたら素早く「どうしたの？」と優しい応答をします。

無視したり、「うるさい、泣くな、わがままだ」などという人もいません。
赤ちゃんに要求する、否定反論する、怒鳴る人なんていません。

「子宝」ですね。宝物を乱暴に扱う人はいません。

これを大きくなっても続けられればいい。実に簡単です。

なお、「子供扱い」とは区別して下さい。
親の威厳を捨てろという意味でもありません。
先回りとお膳立てはしてはいけません。

この方法の改善効果

以上の8つを誠実に地道に実行すると、

自発的な再登校へ導くことができます。

それのみならず、

- ・ **自発的に物事に根気強く取り組む**
- ・ **社会と関わる意義を自ら見出す**

—不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井てるかずにあります。新井てるかズの許可なき複製を禁じます。

- ・ 他人と健全な関係を安定に築くことができる
- ・ 精神が健全に発達する
- ・ 身体が健全に発育する
- ・ 知能が健全に発達する

という効果・メリットがあります。

ちょうどこの原稿を書いているときも、ある親御様から「昨日から短時間ですが登校を自発的に始めました」というメールをいただきました。

いずれも、原理をしっかり理解してポイントを押さえて実行すれば、**1-2 ヶ月で子供に変化が現れます。**

もし、ここに書いたことがまだうまくできていなければ、毎日必死になって真剣にトレーニングして下さい。

上記以外に注意すべき点

お子様の自発的行動を無理に伸ばそうとするか、もしくは抑え込もうとしたり、方向性を変えようとする、必ずお子様がゆがみます。

お子様の行動に干渉しないように注意して下さい。

詳しく言うと、次の2つになります。

1) ギャップを与えない

ギャップとは、次を指します。

当人の本意や意志とギャップがあること

当人の自信やイメージとかけ離れていること

これらを押つけられる度合いが強い程、お子様の精神が不安定になります。具体的にご説明しましょう。

- ・ 当人のその時点の自信やイメージ力に比してがんばらせすぎない。
- ・ 当人の本意に沿わないことを強制、強要、要求、期待しない。
- ・ 登校圧力や登校強要、登校誘導、働きかけをしない。
- ・ 登校できないことに対して身内が口撃（攻撃）しない。
- ・ 命令指示指図「〇〇しなさい」「ダメ！」「早くしなさい！」などを発しない。
- ・ 本心や感情を抑圧させない。
- ・ 管理しない。

—不登校・引きこもりに改善効果がある10の言葉がけと接し方—
※本レポートの著作権は新井でるかずに属します。新井でるかずの許可なき複製を禁じます。

- ・（当人の本意であっても）高すぎる目標を持たせない。
- ・親御様と他人の希望を叶えるため（他人の目に適うため）にがんばらせない。
- ・他人と比べない。「お兄ちゃんは〇〇できているのに、どうしてあなたはできないの」「お姉ちゃんは〇〇だったのにあなたもちゃんとしなきゃ」
- ・「今日どうするの、行くの行かないの？」と選択や決断を迫らない。
- ・「こうしたほうが良いんじゃないか、ああしたら…」というアドバイスもしない。
- ・交換条件で動かそうとしない。

ギャップを与えないだけでも、お子様は苦しみが減じます。

重要な点は「親御様や他人の期待で動かそうとしない、当人の本意のみで動かしてあげる」ことです。

言い換えるなら「**お子様の自発的行動（探索行動）を無理に伸ばそうとしない**」ことです。

「理想の子供像」を捨てることです。

2) 子供に失敗経験を積ませる

先回りとお膳立てをしない。

準備をしてあげない。

レールを敷かない。

誘導しない。

教えない。

アドバイスしない。

不安と危険を先取りしない。

管理しない。

干渉しない。

口出ししない。

転ばぬ先の杖を与えない。

「自分で考えさせてもらえない」「失敗させてもらえない人生」「危険から遠ざけられる人生」は、お子様の精神が病み（闇）に直結する恐ろしい生き方です。ものすごく危険です。

自分で考え、自分で判断し、体験したことこそ、血肉となり身につき地力となります。

痛い目を見せて下さい。失敗させて下さい。

広い世界で多くの経験をさせて下さい。

それで苦しんだときこそ、親御様が愛着で助けてあげればいいのですから。

この経験も、将来人生で自立できる基礎になります。社会を生き抜く力となります。（命の危険があるようなことに対してなどは、当然この限りではありません）

ちなみにこれは一見上記「極意」に反するように見えるかもしれませんが、意味が

全く違います。

重要な点は「失敗経験はとても大切だと考えてあげる」ことです。

言い換えるなら「**お子様の自発的行動（探索行動）を抑えようとしな**い」ことです。

ワーク：安心を与える親になるには？

お子様に安心を与えるには、親御様自身が安心していることが大切です。
(ご自身が不安な親御様が、お子様に安心を与えることは難しいですね)

では、どうすればご自身が安心を与える存在になれるかを、考えてみて下さい。

(ここに自由に書いてみて下さい)

おわりに

私は長年の研究で、「親子の愛着の問題」が不登校の大きな原因になっていることに気づきました。

愛着の問題を抱えた不登校のお子様の、親御様あるいは家庭環境には、かなり心理学的な問題が見られます。乳幼児期から、子供の正常な発達には不適切な言葉がけや接し方が多かったのです。

その問題をキチンと直していくと、お子様の状態が大きく改善され、時にそれだけでお子様が再登校していくのを目の当たりにしました。

つまり、

「言葉がけと接し方はお子様の精神や行動を直接改善することができる」ということがわかってきました。

日本で初めてこの問題に真っ向から立ち向かった者として、

「これは是非皆様にお知らせし、共有したい、ご活用いただきたい」と願い、特別な心理学の知識がない方でも実践できるテクニックを、ここに公開させていただきました。

ご両親様ともに実行していただくと、必ず**第一段階の改善**を引き起こすことができます。第一段階が改善できれば、引き続きご努力を継続なさってみてください。

また、よろしければ私の方まで改善のご報告でもいただければ、励みになります。

ご報告は私のメールアドレス

schooltherapy@gmail.com

まで、お送り下さい。

それでは、本レポートが大切なお子様の不登校問題、引きこもり問題の解決の一助となることを心から願っております。

不登校セラピー代表
新井てるかず

無料電話相談のご案内

どこに行っても、誰に相談しても良くならない・・・と
何年も悩み続けていたのなら
私の無料電話相談をご利用ください。

無料電話相談は、次のようにお感じになり、助けを求めておられる親御様のために、私が電話で直接ご相談を無料でお受けしています。予約制です。

「もう限界」。

手を尽くした。けど私(親)の力でこの子を回復させることはもうムリだ。

「吐き出させてあげたい」。

この子が溜め込んできた、どうしてこういう風になってしまったかって言うのを吐き出させてあげたい。

でも私(親)にはできない。私は子供から本音でしゃべられたことがない。

専門家なら引き出してくれるんじゃないか。

☑ 「とにかく早く手を打たなきゃ」。

ズルズルしてると何年も長引いてしまう。引きこもりじゃないけど何も進めなくなってしまうんじゃないか。近くにそういうお子さんがいる。

これらに一つでも当てはまる場合、一度私までご相談ください。

日本初の不登校専門カウンセリングを行い、根本的改善と自発的再登校を実現させてきた知識と経験、技術によって本質を見極め、お子様の再登校のために

☑ **原因を科学的に解明し、根本的な解決方法をわかりやすくご説明します。**

カウンセリングの押し売りは一切しておりませんのでご安心下さい。

ご相談を希望される親御様は、

[不登校セラピーホームページの「無料電話相談」のページの、予約フォームからお申し込み下さい。](#)

(<http://www.xn--1ck7b2cxds17qqy6a18u.jp/consulting.html>)

*スマートフォンでご覧の方は、上の下線付きの青い文字を、タップしてください。
*PCでご覧の方は、上の下線付きの青い文字を、Ctrl キー+左クリックしてください。

「セキュリティに影響を及ぼす可能性のある問題点が検知されました」という警告が出る場合がありますが、フィッシングサイトなどではありませんので、気にせず「はい」を押してください。